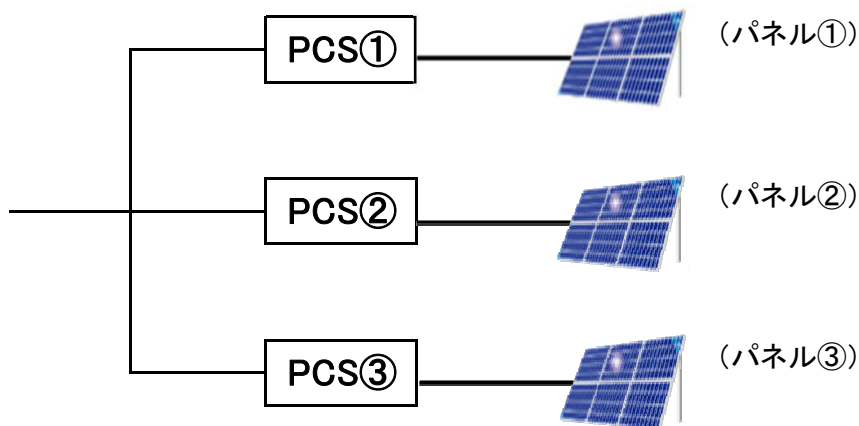


申込書に記載の最大受電電力の算出方法について

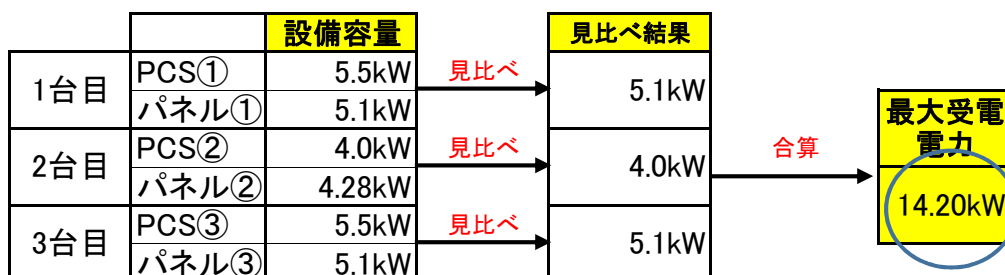
「最大受電電力」については、PCS(定格出力)と発電設備(最大出力)のどちらか小さい容量(出力)を小数点以下第二位までご記入願います。

具体的には、以下の例をご参考に算出のうえ、ご記入くださいますようお願いいたします。

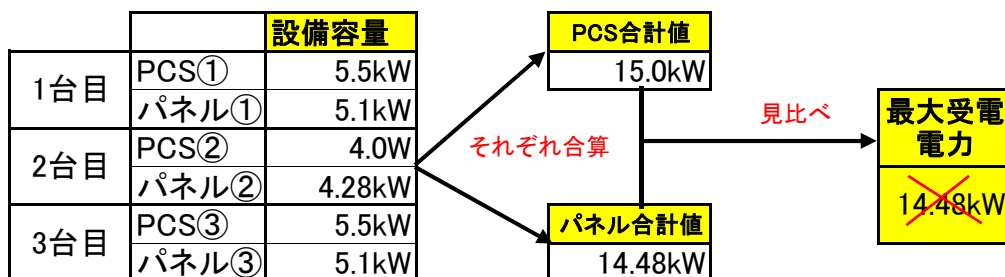
【太陽光発電システム イメージ図】



【正】PCS1台ごとに、そのPCSに接続するパネルの容量と見比べを行ない、見比べた結果の小さい容量を合算する。



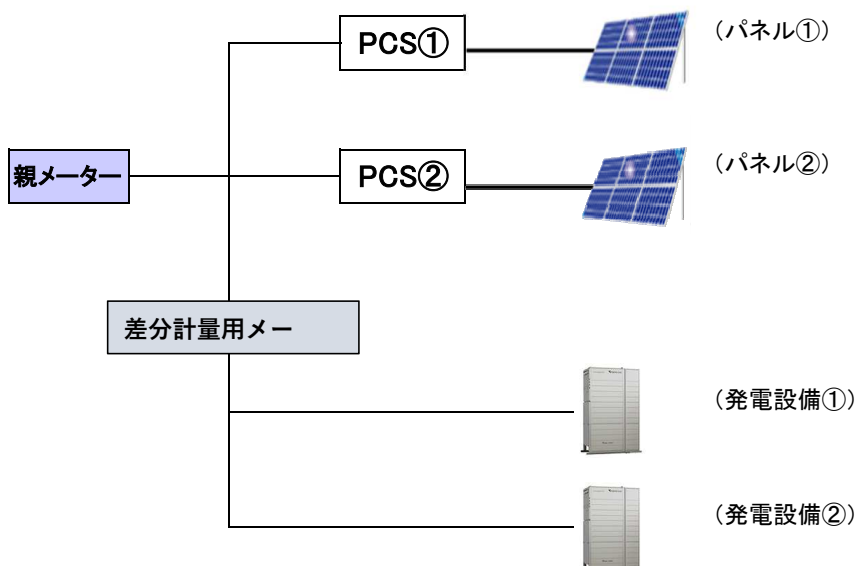
【誤】PCSの全数合計値とパネルの全数合計値を見比べする。



申込書に記載の最大受電電力の算出方法について(差分計量を適用する場合)

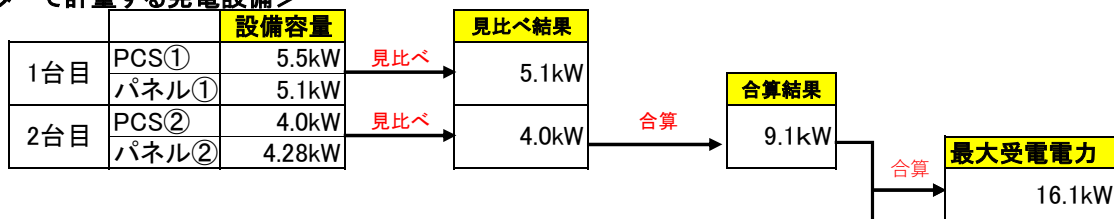
差分計量を適用する発電設備の「最大受電電力」については、差分計量用メーターで計量する発電設備容量の合計と、親メーターで計量する発電設備容量の合計を合算します。

【差分計量 イメージ図】

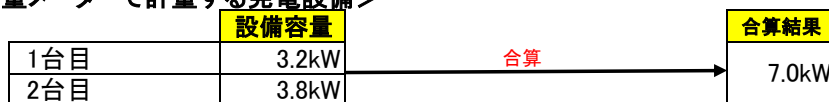


PCSにより制御する太陽光発電設備は、PCS1台ごとに、そのPCSに接続するパネルの容量と見比べを行ない、見比べた結果の小さい容量を合算する。

＜親メーターで計量する発電設備＞



＜差分計量メーターで計量する発電設備＞



差分計量メーターで計量する発電設備容量の合計は、10キロワット未満とする。